

第27回散策路の会活動報告

■日時：2010年2月14日（日）9：00～11：30 天候：晴れ

■参加者：家原義靖、岩崎三郎、大屋進、荻野哲也、奥田せい子、栗原義昭、小坂泰子、鈴木孝紀、瀬尾友紀、瀬尾祥子、高橋潔、長坂洋一、長山広男、山岸啓一、山田正夫＝計15名。

■作業内容：小竹が谷 3橋の整備。（K,10）（J,11）（J,12）

朽ちた橋が新しく丈夫な丸太に —「玄人はだし」のできばえ！—

昨日、曇交じりの雨のなか訪れた冬将軍が去り、今日はその名残の風は冷たいけれど空が明るく、陽射しは春のように晴れ渡った。旧正月の元旦でありました。

新人の長山さん、その紹介者の高橋さんも加わり、なんと総勢15名のサムライが揃った。仕事は以前から懸念されていた、朽ちて壊れかけた橋の架けかえ3箇所である。ベテラン揃いの逞しき腕にかかる、みごとにどっしりとした丈夫な丸太の橋として新しく蘇った。

(1)半切の丸太を現場へ運搬— 昨年、市が倒木処理して、業者によって半分に切られた丸太が4本小竹が谷



(J,13)に置かれていた。それを使って橋を作ることになった。2本はそれぞれ2人が肩に担ぎ、他の2本は太く重いのでロープを絡めて地面を這わせて牽引、1本4人がかりで現場に運ぶ。(写真➡)。

(2)樹皮むき—まず丸太の腐食を防ぐため、

皮むきはベテラン瀬尾祥子さんと新人長山さん(写真➡)。長さを測る高橋さん。チェーンソーで丸太を切断するのは、森の会で腕を慣らした家原さん。



(3)旧橋の除去—古い橋を壊すと腐った木がもろく崩れ、5寸釘の太いのが20本も頭を出し、針金が1メートル以上も巻きついていて、これの除去に大変手こずる岩崎さん、瀬尾さん、鈴木さん。

(4)基礎固め—土嚢をつくり、ブロックを積む荻野さんと山田さん。杭を打ちこんで橋を支える瀬尾さん、鈴木さん。

(5)橋の完成—どのようにして橋をかけるか、メンバーみんなでその場でいろいろな知恵を出し合う。

古材も使い、リヤカーも通れるようにとの要望も入れながら、船頭が多いが徐々に出来上がっていく過程が楽しい。初参加



の高橋さんの感想は、「この作業は頭を使うね」でした。



小竹が谷手前の修理前の橋 ⇒ 新丸太橋の出来上がり
(岩崎、荻野、小坂、鈴木、瀬尾友紀・祥子、長坂、長山、山田)

小竹が谷奥の修理前の橋 ⇒ 新丸太橋の出来上がり

(家原、大屋、栗原、高橋、山岸)

(6)2つの橋の中間の小橋の補修—木が腐って朽ちかけていた小橋。

これも丸太を並べて補修して応急手当をする。(写真➡)

★次回作業内容★2月28日(日)13：30～ 御所川沿いの道整備の続き



